

フィールドワーク②～読谷村のコミュニティビジネス～



★今回のフィールドワークに参加して、読谷村のコミュニティビジネスを学ぶ事ができました。役場と企業、そして生産者等が取り組まれている内容を学ぶ事ができました。今回参加してみて、新たな可能性を探る事ができました。

(照屋一樹)

マス塾新報

島マス記念塾
事務局担当者
無責任編集
局937-3385
MASU@OKICITY
SHAKYO.COM
島マス記念塾



★読谷村漁協、むら咲むら、オキハムを観察し、感じた事は、読谷村は行政と企業が一体となり、地域を盛り上げようという仕組みづくりが上手ということでした。山内さんのアイデアには感心することばかりで、とうがんパイやもぐく井のご当地商品のみならず、ドラゴンフルーツを入れる箱にまでアイデアをめぐらせ、真似したいなあと思う事がたくさんでした。また、オキハム製造の「イカ墨じゅういの素」にみられる農商工連携の商品づくりは、各

いいと思いました。ツアーガイドをしてくれた親川さんの「心配していたことは、やつてみると実際には何でもない事」という言葉も印象に残っています。

(与那覇仁美)

★毎回フィールドワークでは、今まで無知だったことを考えさせられています。読谷村は、やはり用事がなないと58号線をそのまま通過してしまう所。私もその一人でした。読谷漁協をマイナスから立て直した山内さんの熱意、映画化してもいいくらい感動しました。地元を愛する気持ちは地元の人もあるけれど、どうしたらいいか分からなかつたでしょう。その部分を地域住民の得意分野を上手く活かし、一人一人のやる気を引き出す上手さも人柄を感じました。また、企画会議に資料を準備せず、コーヒーブレンド。とかイラストを用いたことが、気張らずに意見が言いつづいてのイメージミーティングだけ。とかイラストを用いたことが、気張らずに意見が言いつづいてのイメージミーティング



★今回のフィールドワークは親川さんの楽しくて勉強になる案内や、読谷村役場の山内さんのイメージミーティング、琉球村の村塾生を結集させると、村民を大切にした会社運営ができる大手企業にはできなかつたことが実現できる。オキハムの地域のお母さんたちのパワーを上手く發揮させての商品開発などの話を聞く事ができ、大きなことを実現しているのは、私とか離れた能力の人ではなく、くと思います。

(翁長久仁子)

た。何かをする時、一步踏み出せない時に今回のフィールドワークを参考にしていくと思います。

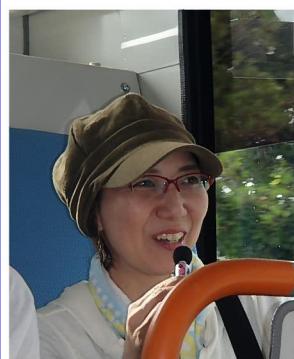
トテうつマラす気分ま●
スレといイ海ぐ持次す沖
クビしてブがそち第。繩
|番てマ|見こいで県市
ブ組いニムえにいウ総与
一はまアはまあよが儀
へすツ、すり! |近に
く探●ク“●東キく住
だ偵好に脳最自海ンでん
らナきな”近宅岸グ、で
なイなろにのかがが氣い

翌生紹介



翁長久仁子

流時時をコいるの●ム理功ギ由へ人大きい
れに動口ま方自私ポ想へヤ：全は好合事
たはは物変すも己のイのハツわ本見！く納
から流逆にわがい紹性ントは？？？
休れ風例り、ら介格にえや氣つでは、
身立つ持し気！性格は？？？
そを任向か鳥自コとてま？？？
そせかいい：分口思いで？？？



感じかナ：●生まれ變
なるとしたら、「私の娘」
なり、『尊敬』！自分娘な
い顔にマツチヨ！理浜田
！性格は？？？
の裕もて行動してい
で町がひ出と段落氏、
誘つて下さうい
！コ子育つがにわ
いざ余て

★ 読谷村役場の山内さんの話
読谷村はよく新商品がニュー
スでも取り上げられます。そ
の度、地域力が高い元気など
ころだと感じていました。

(島袋憲)



(當間仁美)



私達のすごく身近な方々なんだと…。成し遂げるパワーを持つたくさんの方々に出会えてとても楽しかったです。島マス塾に感謝です。

(仲松康)

★ ツアーガイドの親川さんのわかりやすい解説

多くのヒット商品を生み出している課程を聞くことができました。3つの事業所を見学し、共通していえることは、発想の転換、そこに働く職員の強いリーダー

役場職員の意識改革などが、億シップの元に、改革などがある。ひいてはそれが、地域に地域の人々を巻き込んで意識改革をしていく。ひいてはそれが、地域の経済のみならず、沖縄の経済発展にも寄与していること、常に不安を持つつも、いかに地域に人を呼ぶか、地元の人達に魅力を感じてもらえるかと考えているのを知り、根本には地域貢献がある事を感じました。今回のフィールドワークで、読谷が好きで、読谷の為にという思いで行動した結果、読谷の為だけではなく、沖縄県の為に繋がつてく様な感じがしました。沖縄市でもなにができるかを考えられました。

正直「目から鱗が落ちるようだ」といえば大きかもしれませんが、新しい発見の連続でした。

（伊波秀輝）

に繋がるプロセスが印象的でした。むら咲むらは、第三セクではない全くの民間として楽しめたで最も楽しかったです。島マス塾に感謝です。

ながら体験施設としてのお客様の増加に貢献していることが、印象的でした。オキハムでは比嘉さんによる、地域の垣根を越えて製品をブランド化し「もずく井」を筆頭に、多くのヒット商品を生み出し、多くのヒット商品を生み出している課程を聞くことができました。3つの事業所を見学し、共通していえることは、発想の転換、そこに働く職員や、社員、そして地域の人々を巻き込んで意識改革をしていく。ひいてはそれが、地域の経済のみならず、沖縄の経済発展にも寄与していること、常に不安を持つつも、いかに地域に人を呼ぶか、地元の人達に魅力を感じてもらえるかと考えているのを知り、根本には地域貢献がある事を感じました。今回のフィールドワークで、読谷が好きで、読谷の為にという思いで行動した結果、読谷の為だけではなく、沖縄県の為に繋がつてく様な感じがしました。沖縄市でもなにができるかを考えられました。

（島袋憲）

（當間仁美）